

2 目標達成計画

作成日：平成 24年 10月 5日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに次のステップへ向けて取り組む目標を職員一同で話し合いながら作成します。目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	36	廊下のTVカメラのモニターテレビ2台が視聴用のTVと合わせ3台あるので利用者が混乱される恐れがある。又プライバシーの問題もある。	TVモニターを小さな物に買い替え利用者の目の付かない所に移動する。	2台あるTVモニターを1台に減らし小さめのTVに買い替え利用者の目の届かない場所に設置する。	2 か月
2	43	トイレが狭い為、車椅子の利用者が使用しにくいという問題が発生。アコーディオンカーテンの扉のため、車椅子が入り口で引っ掛かってしまうこともあった。	トイレは構造上や金銭面で建て直し等が出来ない為、改装することで入り口を変更してみる。	入り口のアコーディオンカーテンを扉に変更、入り口部分を改装、トイレが2箇所あるので、ひとつを車椅子がスムーズに入れる様にしました。	1 か月
3	52	居間のテーブルが大きく固定してある物で利用者の移動時や災害の対策で不備な部分があった。	固定テーブルをなくし、移動時等に問題のない机にする。災害時にも机の下に体を入れられる物にする。	4本脚のテーブルをふたつ購入。テーブルが小さい物になったので、移動時の問題が解消される。	1 か月
4	52	ホーム内に大きめの家具、あまり使用しない物が置いてあり居間内が狭く感じられる。	居間内をスッキリ見せる。不用なものを処分、使いにくい物は新しい物を購入。	大きめの棚、あまり使用しない物を処分。掲示物も見やすいように掲示する。	6 か月
5	45	身体的に入浴が困難な利用者がおられる為、入浴時の移動が難しくなっている。また介護員の身体的負担がかかってしまう。	入浴困難な利用者の入浴介助を行いやすくするために入浴リフトを設置する。	入浴リフトを設置し介護員の負担がかからない様にする。利用者に入浴を楽しんで頂く。	1 か月

注1) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。

注2) 項目数やセルの幅が足りない場合は、行を挿入してください。